

# 麻布幼稚園だより 12月号

平成28年11月30日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代



## 『今までの教育活動を振り返って』

園長 大島 美知代

2学期最後の月となりました。一番長い2学期があと3週間ほどで終わろうとしています。暑い9月に始まり、プール遊びでは園庭中に楽しそうな元気な声が響きました。そしてプールが片付いて、園児たちは元気に体を動かし、小学校の校庭に行くことが増えました。広い人工芝の上を思い切り走ったり、固定遊具に興味をもって挑んだり、大きなカメと対面して驚いたりしました。10月には小学校の先生方、保護者の皆様、地域の皆様のご協力の下、「親子運動会」を開催しました。責任をもって役割を果たした年長組、自分たちで作ったプレゼント袋を持って、小さい友達の競争を手伝った年中組、初めての運動会だったけれど、最後まで頑張ることができた年少組、園児たちのはつらつとした姿は、今も私の胸に残っています。そして11月、遠足の経験や園庭の柿を収穫する経験をし、秋の季節を生かして作品を作りました。先週には大勢の皆様が参観してくださり、「作品展」が終わりました。

園児たちは自分の目で見て、心で感じて、友達とたくさんのかかわりの経験を下に、いろいろな活動に参加し、成長してきたと思います。

残すところは平成29年1月～3月までの3学期のみとなりました。私たち教員も幼児一人一人が身に付けた力や技能を記録し、それぞれの学年末に向けて3学期の教育活動の計画を立てていこうと考えています。

12月は平成28年度の教育活動を振り返る時期です。教員はもちろんですが、保護者の皆様にも「平成28年度 学校評価」をお願いいたします。評価表の最後に自由記述の欄があります。そこにもお気付きの点、ご要望などをご忌憚なく、書いてくださるようお願いいたします。私たちも1年間の教育活動、教育計画、実施の際の環境構成、教材や遊具などやそれぞれの教員が受け持っている教育に関する役割等についての反省と評価を行います。そして保護者や地域の方（学校評議員の皆様）の評価をいただき、それを生かして平成29年度の教育計画、教育課程の作成に入っていくこととなります。

人は中々自分の姿は見えにくいものです。教員として、保護者として、幼児を取り巻く大きな影響を及ぼす大人として、自分の姿、考え方、行動は適切だったのか、をも振り返ることが重要だと考えます。幼児期は大人と一緒に大きくなっていく時期です。幼児は、幼児を取り巻く大人の言動や行動、教師や保護者の醸し出す雰囲気や敏感に感じ取って大きくなっていきます。私たち大人は、例えば、子どもに丁寧な言葉で話すことを育てたいなら、自分自身も丁寧な言葉を使わなければいけないと思います。あいさつをきちんとすることを育てたいなら、保護者自身がきちんとあいさつをする姿を見ていれば、きっと幼児も自然とそうなると思います。早く起きて身支度をしてほしい、忘れ物がないようにしてほしい、と思えば、保護者は、我が子が早く支度ができるように、忘れ物をしないように、自分の生活ペースも変えることができるのは明白です。幼児がよりよく生活できるように、ちょっと厳しく、自分のことを振り返ってみましょう。

おかげさまで園児たちの笑顔に囲まれて楽しい1年が終了できそうです。平成29年も素敵な年になりますように、皆様と力を合わせていきましょう。

